

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	キャリアデザイン I		TDB107
講義名 (コード)	キャリアデザイン I (DB)		TDB107
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	デジタルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	井上洋輔・塩見知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見知恵子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義・演習・実技

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	自己のライフキャリアを再確認し、職業体験を通じたキャリア形成の基礎を養うこと。自らの言葉で発言し（スピーチ力強化）、周囲のフィードバックを適切に受け止めることができること。
全体の内容と概要	専門学校へ進学した意味や目的を再確認し、必要なキャリア形成の知識・スキルを自ら調べてアウトプットできるようにする。参加者からの質問を促し「質問力」「スピーチ力」「コミュニケーション力」を養う機会を設ける。
授業時間外の学修	授業時間中にわからないことは進路手帳や補助プリントを活用し自分で調べること。授業時間内でのインプット（講義）は最低限とする。不明な点は授業時間外に学習者が調べ授業時間内に質問することとする。
履修上の注意事項等	授業カリキュラムの原則として1コマで講義時間は30分～40分程度とする。残り時間は学習者が自ら調べ、自分の意見をアウトプット（口頭、文章化等）させて参加者のフィードバックを積極的に受けるスタイルとする。教員は学習者の発言を促し、授業全体をファシリテートすること。授業内容は学習者の希望や学習状況により変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業時に提示した教材プリントに、ワークの成果を記述して授業終了時（あるいは次回授業時）に提出することを義務付ける。この提出の内容が成績評価の核となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	キャリアの関わり方
1	オリエンテーション	①今週のDBコース授業（HR） ②最初が肝心プロジェクト
2	他者理解①	①今週のDB（HR） ②就活のスケジュール/日本の就活の特徴とは？ ③担任面談（全員）
3	他者理解②	最初が肝心プロジェクト（課題）
4	他者理解③	①今週のDB（HR） ②担任面談（全員）③キャリア授業
5	人生100年時代の仕事とは①	①今週のDB（HR） ②キャリア面談1（指定）③担任授業（就活）
6	人生100年時代の仕事とは②	①今週のDB（HR） ②キャリア面談3（指定）※ビジネスマナー含め3回予定 ③担任授業（就活）
7	自己理解①	①今週のDB（HR） ②就活（自己理解①）
8	自己理解②	①今週のDB（HR） ②就活（自己理解②）
9	業界・仕事研究①	①今週のDB（HR） ②業界・仕事研究が重要な理由（解説）
10	業界・仕事研究②	①今週のDB（HR）②社会人の先輩に依頼（先輩の予定次第で日程変更）
11	インターンシップとは①	①今週のDB（HR）②就活（インターンシップについて）
12	インターンシップとは②	①今週のDB（HR）②キャリア面談（インターンシップ）
13	期末試験	期末試験（模擬面接、レポートなど内容は未定）
14	試験のフィードバック（振り返り） キャリアセンターからの就職ガイダンス	①HR ②期末試験のフィードバック
15	自分に対する情報収集（レポート課題）	①HR ②キャリア担当授業：夏休みの過ごし方（情報収集）

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	進路活動ハンドブック + プリント教材（ファイル）
参考文献・資料等	
備考	